



熊谷 もも 議員

あえて夢を！
廃校活用で
高島活性化

若者定住と廃校利用を

関連させてみては？

答

地域の皆さんと連携し、幅広く検討していく

問

高島で暮らそう！

廃校してからでは市の普通財産として管理され、校舎の活用は難しい傾向がある。校舎を活用するためには、廃校の前に、活用方法を地元の皆さんが中心となり「どんな地域にしたいのか」意見を出し合い、行政に伝えておく必要がある。『高島市学校跡地利用検討委員会』に期待するが、全国では「跡地利用検討委員会」が設置されてもアイデアのないまま何年も経ってしまう事例も多い。

答 政策監

「若者定住促進プロジェクト」が発足し、移住・定住市民会議が開催された。空き家同様、小学校の跡地も地域資源であり財産である。「若者定住促進プロジェクト」に校舎の活用を関連させて考えていくことを提案する。いかがだろうか。

問

学校は地域住民にとって身近な公共施設であり、地域のシンボリックな存在である。廃校となった校舎を積極的に地域コミュニティの拠点として有効活用することが求められる。

各学校校舎は地域のおかげがえのない公共資源であり、地域住民の心よりどころです。維持管理の主体や運営経費の問題もさることながら、地域住民の皆さんの思いが反映され、その協力や連携の中で利活用が図られるか、また、それ以外に広く多様な方の参画でその活用が図られるよう幅広く検討していくことが重要です。今後も様々な機会に、若者の活躍の場を含め効果的な活用が図られるよう、関係者の情報共有を図ります。

答 教育部長

統廃合による学校施設の跡地利用については、地域の皆さんに地域振興や雇用等につながるご意見をお聞きするため、跡地利用検討委員会を組織し、地域にふさわしい施設利用を考えたいただく予定です。

廃校フォーラムが必要かどうかについても、検討委員会において協議します。

その他の質問

●地域通貨アイカで経済の活性化を



アイカを知ろう！
アイカを使おう！
地域経済活性化！！